

小牧市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	結石性胆管炎に対する抗菌薬の初期選択に関する検討 (221020)
当院の研究責任者 (所属)	大西 克浩 (薬 局)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	森岡 悠 (名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部)
本研究の目的	<p>従来から結石性胆管炎の初期抗菌薬治療として、本邦では胆道移行性が良いとされているセフォペラゾン/スルバクタムが胆道感染に対して、しばしば使用されていますが、今のところ、セフォペラゾン/スルバクタムがほかの抗菌薬に比べて治療効果が良いというデータはありません。セフォペラゾン/スルバクタムとともに胆管炎に対してしばしば使用される抗菌薬のひとつにセフメタゾールがあげられますが、これらの抗菌薬の有効性について比較した報告は未だありません。</p> <p>本研究は、結石性胆管炎に対するセフォペラゾン/スルバクタムとセフメタゾールの有効性について比較し、評価することを目的としています。</p>
調査データ該当期間	2019年5月1日から2022年4月30日まで
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さん 当院で、2019年5月以降に結石性胆管炎に対してセフォペラゾン/スルバクタムまたはセフメタゾールが投与された患者さんを対象としています。 なお、18歳未満の患者さん、入院時にショック状態の患者さん、胆管炎発症時に胆道系留置デバイスがある患者さん、30日以内の抗菌薬暴露歴のある患者さん、ドレナージ未実施もしくはドレナージ不十分だった患者さんは対象外としています。</p> <p>●利用する情報 30日以内の生存率、3か月以内の再発率、有害事象の発症率、入院期間、患者さんの既往歴、胆管炎の治療の際に実施された処置の内容、血液と胆汁から検出された微生物を電子カルテより後ろ向きに調査します。</p>
試料／情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	該当なし
個人情報の取り扱い	この調査から得られた情報を感染症患者様の医療の発展にフィードバックしたいと考えています。具体的には、学会での発表や論文への投稿になります。一方、調査した結果は個人のものとしてではなく、集団の平均としての情報が使用されます。そのため、個人を特定できるような情報が公表されることはありません。

<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>愛知県小牧市常普請 1-20 小牧市民病院 電話：(0568) 76-4131 担当者 薬局：大西 克浩 責任代表者：薬剤師 大西 克浩</p>
<p>備考</p>	<p>本研究への参加は自由です。この研究への参加を断った場合や、参加に同意され、研究が開始された後に参加を取りやめることとなった場合においても、患者様は一切不利益を被ることはありません。また、研究への参加を同意した場合であっても、随時撤回することができます。</p>